

じょうようのほくし

城陽市社協
マスコット

社協だより



共同募金配分金で作成しています

発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909
FAX 0774(56)2800
<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

平成27年 秋 発行
第113号



常設型の

災害ボランティアセンターを

設置しました!

↑協定締結後、握手をする奥田城陽市長(左)と本会鈴鹿会長(右)

7月2日に、福祉センターで「城陽市災害ボランティアセンター運営等に関する協定締結式」を開催し、奥田城陽市長と本会鈴鹿会長が協定を交わし、常設型の災害ボランティアセンター(以後、センター)を設置しました。

また、7月27日には第1回目となる災害ボランティアセンター推進協議会を開催し、運営団体である校区社協や商工会議所、青年会議所、日赤地区奉仕団「城炊会」、ボランティア連絡協議会、市民生児童委員協議会、城陽市(防災担当課・福祉担当課)等の担当者にご出席いただきました。協議会では、災害時のボランティア支援で対応できる範囲や備品整備等について、意見を交わしました。

今後は平常時活動として、センター運営のためのスタッフ向け研修会・訓練を開催したり、必要備品や資機材の購入・整備を進めていきます。また、地域内各種団体や地域住民の方々のご理解・ご協力いただけるよう啓発活動にも取り組んでいきます。

近年、東日本大震災をはじめ、全国各地で地震や豪雨、火山の噴火など、様々な自然災害が発生し、大きな被害に見舞われています。京都府においても、平成24年から毎年のように豪雨災害が発生し、大きな被害を受けています。

災害ボランティアセンターでは、そういった災害が起きた際に、行政では支援しきれない部分をカバーし、また、ボランティアを受け入れ、被災地・被災者支援につなげていく役割を担います。

資機材等の確認



訓練・研修・視察



災害ボランティア及びボランティアコーディネーターの養成・研修



災害ボランティア活動の広報・啓発



平常時

日頃から防災に対する意識を高め、各関係団体や地域住民の方たちと協力し、災害時に対する準備をしておくことで、災害発生時に組織として素早く力を発揮することが可能となります。災害時に被災された方に寄り添った支援ができるよう、日頃から各関係団体や地域住民同士連携し、「顔の見える関係づくり」の構築に努めるものとしします。

推進協議会

校区社協／商工会議所／青年会議所／日赤地区奉仕団(城炊会)／ボランティア連絡協議会／市民児協／市(防災担当課・福祉担当課)／市社協

災害ボランティアセンターの活動

- ・情報の収集・発信及び広報
- ・災害ボランティアの募集・受け入れ、コーディネート
- ・被害状況及び被災者ニーズの把握
- ・災害ボランティア活動に必要な資機材等の調達及び管理
- ・災害ボランティアの安全・衛生管理
- ・関係機関・団体等との連絡・調整
- ・災害ボランティア活動の内容及びセンターの運営記録

など

災害ボランティアセンター

連携・協働



被災地・被災者のニーズ(必要としていること・もの困っていること)の把握



ボランティア活動者の衛生・体調・事故管理



資機材の調達・提供・整備・管理



ボランティアの受け入れ・調整



活動現場に送り出す際のオリエンテーション



情報の収集・発信・記録

災害時

災害が発生した場合には、被害状況により、市災害対策本部が災害ボランティアセンターの災害時体制への移行を決定し、市社協に要請します。災害時においては、的確なニーズの把握が復興を早めるカギとなります。住民みんなで声を拾い合うことで、把握されていないニーズを支援者側に伝えることができます。

- 市災害対策本部
- ボランティア
- 民生児童委員
- 府災害ボランティアセンター
- 自治会
- 町内会
- 自主防災組織
- NPO
- 地域住民
- 外部災害支援団体
- など

たくさんの笑顔であふれた 城陽サマースクール☀

夏祭りやプール、工作など今年も障がいのある子供たちが楽しめる、城陽サマースクールが開催されました。気象警報の影響で開校式及び開校式が中止となりましたが、たくさんの児童・生徒、ボランティアの方々に参加され、大変にぎやかなサマースクールになりました。

参加児童は延べ124名にのぼり、ボランティアは中学生をはじめとした学生や、ボランティア団体、校区社協、その他に個人ボランティアの方が参加されました。

参加した子供たちは活動を通して生き生きとした表情をしており、思い出に残る夏休みが過ごせたのではないだろうか。

8月18日に行われた工作では、紙コップを使ってロケットとけん玉を作りました。折り紙やシール、色ペンを使い、それぞれが思い思いの



暑い夏にはやっぱり
プール



みんなでおいしく食べた
カレー

作品を作り個性あふれるものが完成しました。

その工作の日には、龍谷大学ボランティア・

NPO活動センターで活動している学生が、

「夏らしい取組みのボランティアをしたい。新しいつながりを作っていきたい。」ということ

で、大勢ボランティアに来ており、子供たちの

工作がよいものになるようやさしくサポート

していました。こうしたつながりを大切にし、

今後さらに深めていきたいと感じました。

また、期間中何度もボランティアに参加され

た方もおり、参加する子供たちが安心して活動

できていました。

このサマースクールでできた子供どうしの

つながり、親どうしのつながり、親とボランテ

ィアのつながり等が今回だけに留まらないよ

う継続した支援を今後も続けていきます。



個性がいっぱいの
工作



いつも温かく見守ってくれた
民生委員さん

ご協力いただいた皆様、大変
ありがとうございました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金で 地域に笑顔を増やしましょう

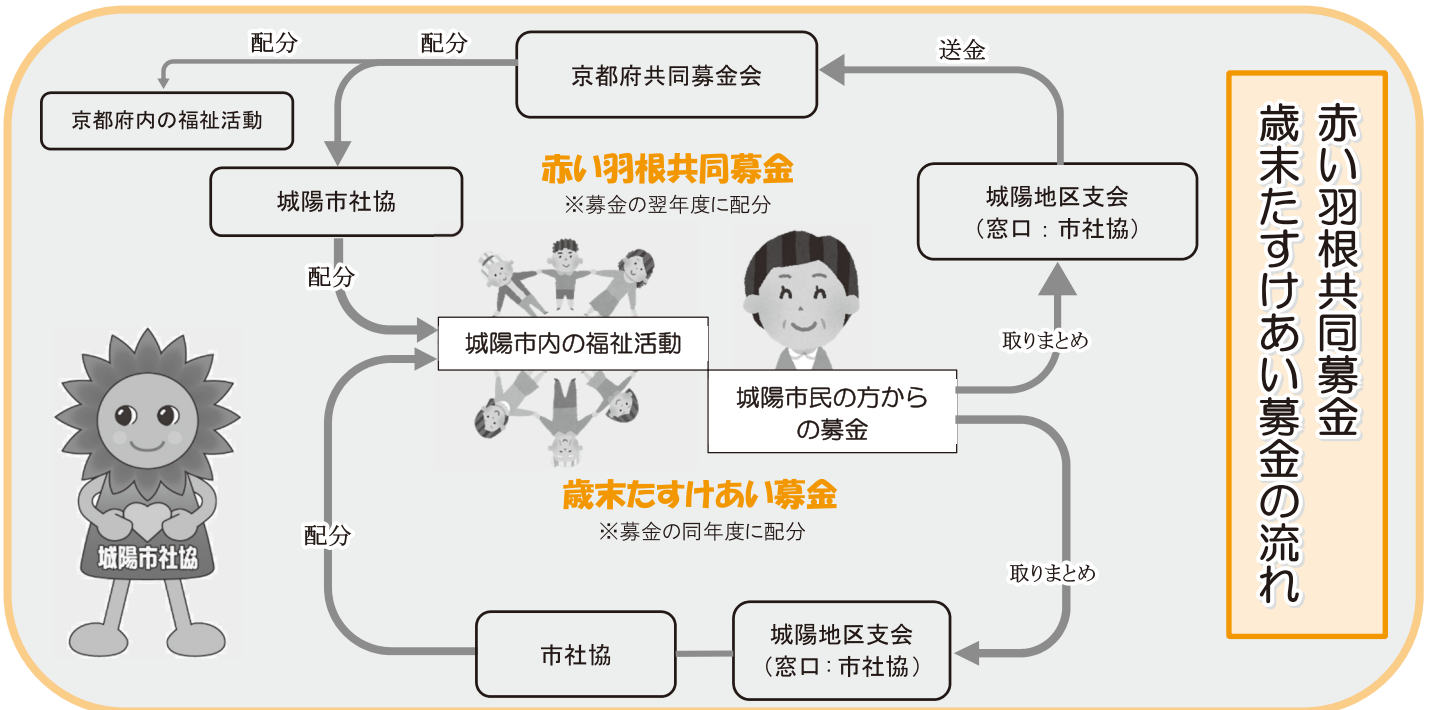


共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)は、社会福祉法に規定された全国で行われる募金運動で、地域福祉の課題解決・推進に取り組む活動を支援することを目的として実施されます。また、実施主体は都道府県ごとに設置される共同募金会であり、社会福祉協議会はその活動に協力し、募金事務や窓口の設置などを行っています。

赤い羽根共同募金は、10月1日～12月31日の期間に実施されます。城陽市で集められた募金は京都府内の福祉施設や団体、城陽市内で行われる地域福祉活動に活用されます。

歳末たすけあい募金は、12月1日～12月31日の期間に実施され、募金額のすべてが城陽市内で行われる地域福祉活動に活用されます。

なお、これらの募金活動は、自治会役員の方々の多大なるご協力のもと実施されています。市民のみならず、より一層のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金
歳末たすけあい募金の流れ

歳末たすけあい募金
配分事業助成金申請
を受け付けます

【対象団体】市内で1年以上の活動実績があることかつ、構成員が5人以上の団体。(社会福祉法人・校区社協・政治団体・宗教団体・営利団体・本会の社会福祉関係団体事業助成金を申請している団体・自治会及びそれに準ずる団体、行政機関等から応分の補助がある団体等は除く)

【対象事業】平成27年1月から平成28年11月までに実施・完了する高齢者や障がい者、児童などが地域で安心して暮らせるような風土づくりにつながるふれあい・交流事業や支援事業等。

【助成金額】対象事業の総額3分の2を超えない範囲かつ1団体5万円以内。

【申請方法】申請書を市社協(福祉センター1階)に提出。

【申請期間】平成27年10月30日(金)まで

【注意事項】団体会員のみを対象とする事業は対象外。また、事業終了後に領収書の写し・報告書提出必須。

【問合せ】市社協(電話 56-0909)

※共同募金の事業を全国展開する、中央共同募金会及び各都道府県共同募金会のホームページ上では、城陽市に住んでいながらも被災地域への募金をはじめ、グッズ購入やインターネット・スマートフォン募金など、様々な形態で全国各地の募金運動への協力が可能です。遠く離れた地域でも、個人であっても力になれることはたくさんあります。ぜひご利用ください。

中央募金会ホームページ ⇒ <http://www.akaihane.or.jp/>

～ひろがれ！つながれ！みんなのわ～

城陽福祉ふれあいまつりに行ってみよう!



とき：平成27年11月8日(日)
10:00～15:00

ところ：文化パーク城陽

※車いすをご利用の方で、会場までの送迎希望の方は10月26日(月)までに市社協にお申込みください。



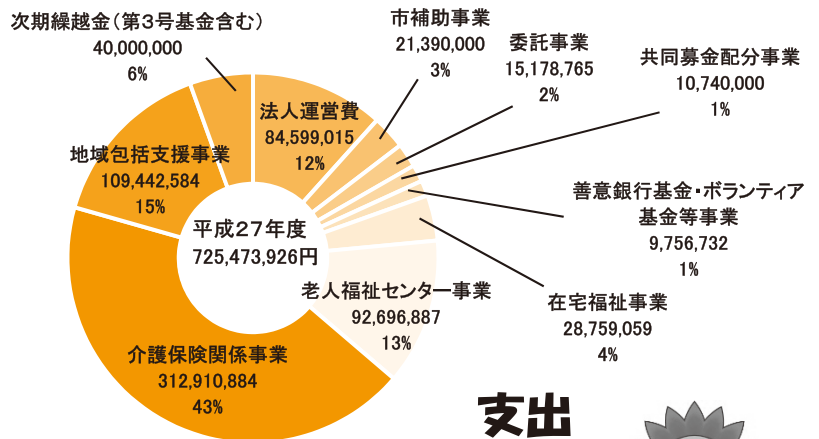
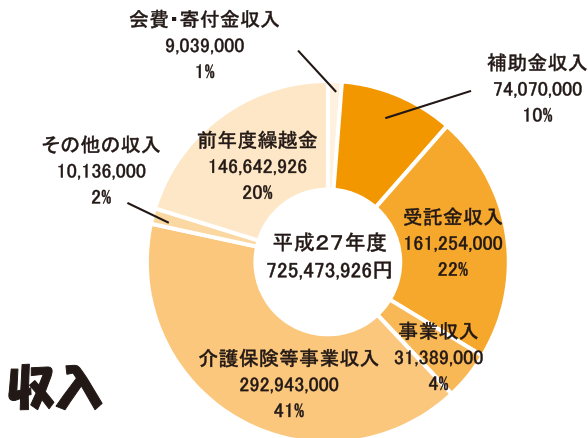
「城陽福祉ふれあいまつり」は平成3年から始まり、今年で25回目の開催となります。城陽福祉ふれあいまつりが開催された平成3年当時の高齢化率は8%台でしたが、現在では30%を超え人口構成年齢比や地域関係、家族形態等が大きく変化してきています。城陽福祉ふれあいまつりを通して、福祉関係団体やそれを支援する団体が集まり、多くの地域住民の方が楽しみながら福祉活動にふれあう機会となること、また、参加者全体で交流を深め、福祉活動の大切さを再考する場となることを願い、開催いたします。

催し物としては、ステージ発表、福祉施設物品、食べ物販売など、参加される方が楽しんでいただける内容を企画しています。詳しい内容は市社協ホームページに掲載する予定です。ぜひこちらもご覧になり、お誘いあわせの上ご来場ください。また、ご不明な点等ございましたら、市社協までお問い合わせください。

(電話：56-0909)

平成27年度 城陽市社会福祉協議会 予算 (補正後)

単位：円



前号(112号)に平成26年度決算と平成27年度当初予算の記事を掲載しましたが、決算額が確定したことに伴い、一部補正した平成27年度予算を掲載いたします。また、本会ホームページ【情報公開(情報・計画他)】に詳しい予算・決算が記載されていますので、よろしければそちらもご覧ください。



敬老会のご案内

各校区社会福祉協議会が主催している敬老会が9月から10月にかけて開催されます。米寿・長寿を祝う式典や、校区ごとに異なった様々なステージパフォーマンス(幼稚園児・保育園児、小中学生の合唱や合奏など)が行われます。身近な地域に住んでいる同年代の方たちと交流を深めたり、子供たちの元気な姿を見たり、この機会にぜひ、参加してみてください。

対象は平成27年7月1日現在、城陽市在住で昭和21年12月31日以前にお生まれの、数えて70歳以上の方です。対象となる方には、各校区社会福祉協議会が直接ご案内しています。

すでに終了している校区もありますが、日程・場所は次のとおりです。



校区	日時	場所
久津川	10月18日(日)13:00~	久津川小学校
古川	10月25日(日)13:00~	北城陽中学校
久世	10月18日(日)10:00~	東部コミセン
深谷	9月27日(日)10:00~	東部コミセン
寺田	10月18日(日)13:00~	寺田小学校
寺田南	9月19日(土)13:00~	福祉センター
寺田西	9月23日(水・祝)13:30~	文化パルク城陽 プラムホール
今池	10月25日(日)13:30~	今池小学校
富野	10月25日(日)13:00~	南部コミセン
青谷	10月18日(日)13:30~	青谷小学校



サイレント・ペア で地域福祉を考えよう



市社協では、NHKで放送された「サイレント・ペアー 声なき貧困」のDVD貸出を行っています。

この物語は、社協で働いているコミュニティ・ソーシャルワーカー(以下、CSW)の里見涼(深田恭子)が、孤立という現代社会の新たな貧困に立ち向かうストーリーを描いたもので、大阪府豊中市社協のCSWが実際に行っている支援活動をもとに制作されています。地域のつながりの大切さを感じられる作品となっていますので、より多くの方に見ていただき、城陽市の福祉のあり方について考えていただくきっかけとなればと思います。

貸出方法：お電話にて(56-0909)予約状況を確認し、印鑑をご持参のうえ、福祉センター1階窓口にて、借用申請書に氏名等、必要事項を記入。

貸出期間：2週間(予約可)

善意のご寄付ありがとうございました！

城陽市社会福祉協議会が行う事業のためにご寄付をいただいた方・団体を紹介します。
(平成27年6月1日~平成27年8月31日現在)

- | | | |
|----------------------|-----|----------|
| ○全京都建築労働組合洛南支部 | 寄付金 | 162,636円 |
| ○京都市城陽ロータリークラブ | 寄付金 | 30,000円 |
| ○城陽市牛乳販売店組合 | 寄付金 | 30,000円 |
| ○今池コミュニティセンター運営委員会 | 寄付品 | 車いす1台 |
| ○芳川 敏博 | 寄付金 | 10,000円 |
| ○サントリープロダクツ労働組合宇治川支部 | 寄付金 | 23,582円 |
| ○鈴鹿 義弘 | 寄付金 | 50,000円 |



【受付順・敬称略】

ご寄付は、本会の善意銀行等に積み立て、城陽市で行う地域福祉やボランティア活動の推進に活用します。また、車いすは一般貸し出しや学校での福祉体験学習に活用しています。
本社会福祉協議会では善意のご寄付を受け付けています。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。